

試験報告書

依頼者 株式会社 リスニ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 ナノバブルふしみーず pH13を純水で5倍希釈した液

表 題 ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

2020 年 10 月 28 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

要 約

ナノバブルふしみーず pH13を純水で5倍希釈した液を検体として、OECD Guideline for Testing of Chemicals 404(2015)に準拠し、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験を行った。

検体をウサギ3匹の無傷及び有傷皮膚に24時間閉鎖適用した。その結果、除去後1時間に全例ではっきりした紅斑が見られたが、24時間に消失した。

ISO 10993-10:2010, Biological evaluation of medical devices - Part 10に従って求めた一次刺激性インデックス(P. I. I.)は0となった。

以上のことから、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験において、検体は「無刺激性」の範疇に入るものと評価された。

※リスニ追記・・・

5倍希釈液（pH12.5前後）が皮膚に付いても無刺激であることが証明されました。

試験報告書

依頼者 株式会社 リスニ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 ナノバブルふしみーず pH13を純水で10倍希釈した液

表 題 雌ラットを用いる急性経口毒性試験

2020 年 10 月 28 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

雌ラットを用いる急性経口毒性試験

要 約

ナノバブルふしみーず pH13を純水で10倍希釈した液を検体として、雌ラットを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

2000 mg/kgの用量の検体を雌ラットに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。

以上のことから、ラットを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌では2000 mg/kgを超えるものと評価された。

リスニ追記・・・

弊社では加湿器の水にナノバブルふしみーず pH13を20倍程度に希釈した液の使用を推奨しています。(この試験液より薄い液)

その時、加湿器から出た霧が眼に入ったり、口に入ったりしても問題ないことが証明されました。

*点眼したり、飲用することが目的ではないのでご注意ください。

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 リスニ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 ナノバブルふしみーず pH13を純水で10倍希釈した液

表 題 ウサギを用いる眼刺激性試験

2020 年 10 月 28 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

ウサギを用いる眼刺激性試験

要 約

ナノバブルふしみーず pH13を純水で10倍希釈した液を検体として、OECD Guideline for the Testing of Chemicals 405(2020)に準拠し、ウサギを用いる眼刺激性試験を行った。

ウサギ3匹の片眼に検体を0.1 mL点眼した。その結果、点眼後1, 24, 48及び72時間の各観察時間において刺激反応は見られなかった。

Draize法に従って求めた観察期間中の平均合計評点の最高値は0となった。

以上のことから、ウサギを用いる眼刺激性試験において、検体は「無刺激物」の範疇にあるものと評価された。

リスニ追記・・・

弊社では加湿器の水にナノバブルふしみーず pH13を20倍程度に希釈した液の使用を推奨しています。(この試験液より薄い液)
その時、加湿器から出た霧が眼に入ったり、口に入ったりしても問題ないことが証明されました。

*点眼したり、飲用することが目的ではないのでご注意ください。